

【注意事項】

R20TS0714JJ0100

Rev.1.00

2021.07.01 号

RL78 ファミリー用 C コンパイラパッケージ
(注意事項 CCRL#028)

概要

RL78 ファミリー用 C コンパイラパッケージ CC-RL の使用上の注意事項を連絡します。

1. ビット操作命令のビット位置指定を誤った場合の注意事項 (CCRL#028)

注：注意事項の後ろの番号は、注意事項の識別番号です。

1. ビット操作命令のビット位置指定を誤った場合の注意事項 (CCRL#028)

1.1 該当製品

CC-RL V1.01.00~V1.10.00

1.2 内容

アセンブリソースプログラム上で、ビット操作命令のビット位置に指定できない値 (0~7 以外の数値) を指定した場合は、アセンブルエラーとなるべきですが、エラーとならずにオブジェクトを生成する場合があります。なお、コンパイラが生成したアセンブリ命令は非該当です。ただし、`#pragma inline_asm` 関数内に条件を満たすアセンブリを記述した場合は該当します。

1.3 発生条件

次の(1)から(3)のすべてを満たすアセンブリ記述をした場合に該当します。

- (1) 次のビット操作命令のいずれかを記述している
`mov1, and1, or1, xor1, set1, clr1, bt, bf, btclr, .bt, .bf`
- (2) 次のいずれかの形式のオペランドを指定している
`[HL].bit`
`ES:[HL].bit`
- (3) (2)の bit の位置の指定に 0~7 以外の数値を指定している

1.4 発生例

以下に発生例を記します。赤文字が発生条件の該当箇所です。

[発生例 1]

`asrl -cpu=S3 tp1.asm`

```
# tp1.asm
bt [hl].-1, $L1 ; (1) (2) (3)
```

この例の場合は、以下の命令としてオブジェクトを生成します。

```
bt a.7, $L1
```

[発生例 2]

`asrl -cpu=S3 tp2.asm`

```
# tp2.asm
set1 [hl].-1 ; (1) (2) (3)
sub x, a
```

この例の場合は、以下の命令列となります。この例のように後続の命令までソースプログラムと違うオブジェクトになる場合もあります。

```
set1 0xffe71.7
subw sp, #0
```

1.5 回避策

ビット操作命令のビット位置の指定を 0～7 の整数で行ってください。

1.6 恒久対策

CC-RL V1.11.00 で改修する予定です。リリース時期は未定です。

以上

改訂記録

Rev.	発行日	改訂内容	
		ページ	ポイント
1.00	Jul.01.21	-	新規発行

本資料に記載されている情報は、正確を期すため慎重に作成したのですが、誤りがないことを保証するものではありません。万一、本資料に記載されている情報の誤りに起因する損害がお客様に生じた場合においても、当社は、一切その責任を負いません。

過去のニュース内容は発行当時の情報をもとにしており、現時点では変更された情報や無効な情報が含まれている場合があります。

ニュース本文中の URL を予告なしに変更または中止することがありますので、あらかじめご承知ください。

本社所在地

〒135-0061 東京都江東区豊洲 3-2-24 (豊洲フォレシア)

www.renesas.com

お問合せ窓口

弊社の製品や技術、ドキュメントの最新情報、最寄の営業お問合せ窓口に関する情報などは、弊社ウェブサイトをご覧ください。

www.renesas.com/contact/

商標について

ルネサスおよびルネサスロゴはルネサス エレクトロニクス株式会社の商標です。すべての商標および登録商標は、それぞれの所有者に帰属します。